

VI 1人1台端末導入に係る端末購入について

国のGIGAスクール構想に基づき、令和4年度より生徒1人につき1台の端末を学校に持ち込んで学習等に活用することになっております。中学校と異なる点は、道立高校においては端末を各家庭でご用意いただくことです。

また、本校ではiPadOSを搭載した端末(iPad)を利用して、全員が同じ環境で学習活動や探究活動、学校生活全般で活用しております。そのため、入学までに次の端末等を家庭でご準備ください。

(なお、本校では端末購入に関わる業者を斡旋しておりません)

ご家庭で準備していただくもの

1 iPad本体 2 キーボード 3 端末故障時の保険への加入 4 スタイラスペン

1 iPad本体

本校では、OSを1つ指定し、複数のモデルを推奨する形で活用しております。

本校の推奨モデルは次の通りです。なお、「Wi-Fiモデル」、「Wi-Fi+セルラーモデル」のどちらを利用しても構いません。

本校におけるiPadの推奨モデル(内蔵ストレージは64GB以上を推奨)

- ・iPad(第8世代以降のモデル)
- ・iPad Air(第3世代以降のモデル)
- ・iPad Pro(画面サイズは不問、但し11inchは第1世代・12.9inchは第3世代以降のモデル)

ア 現行モデルを購入する場合

次の場所から購入可能です。なお、多くの場合、予約購入となりますので、新規購入される場合は日にちに余裕をもってご購入ください。

- ① Apple Store オンライン (参考価格: iPad(第11世代)は58,800円税込)
- ② ドコモ、au、Softbank等のキャリアショップ
- ③ 家電量販店等

イ 旧モデルを利用する場合

ご家庭にある既存の端末を利用される、中古端末を購入される場合等、次の条件を満たすかをご確認願います。不明な場合は本校までお問い合わせください。

- ① 5GHz帯のWi-Fiに接続できること ※1
- ② 在学中は最新版のOSが利用できること ※2

※1 校内では、各教室に設置の無線アクセスポイントに接続して利用します。ただし、周波数帯は5GHz帯でのみ接続できる設定となっています。2.4GHz帯での接続できません。

※2 道立高校では、セキュリティ確保のため端末は常に最新版のOSで利用することとなっております。

2 キーボード

iPad用のキーボードは家電量販店やAmazon等のサイトでも多数販売されていますが、高価なものはありません。ただ、移動時の画面保護や忘れ物防止の観点から、キーボード付きケースを推奨しています。また、iPad本体とキーボードの接続方法については、有線接続・コネクタ接続やBluetooth接続でご用意いただく端末に対応したものでお願いします。

3 端末故障時の保険への加入

端末を毎日持参します。1年間で数件、落下等による故障の相談を受けています。備えとして損害保険等に加入していただくことを強く推奨しています。各ご家庭で加入ください。

4 スタイラスペン

Apple Pencil等のスタイラスペンについては、画面に手を触れずに操作ができる、授業での配付資料データに直接書き込んだりできるなど、学習面における需要が高いため利用を推奨しています。その際純正品または互換品をご用意ください。紛失も見受けられますので記名もお願いします。

5 家庭の経済状況等により、端末を購入できない場合

経済的な事情によりiPad等を用意することができない世帯※の生徒は、北海道指定の学校で所有する端末を貸与いたします。端末準備の都合上、ご希望の方は3月下旬までにご連絡ください。

本校から「北海道立学校学習用パソコン等借受申請書および承諾書」をお渡しいたします。必要事項を記載のうえ、ご提出いただきます。(収入を証明する書類等の提出はありません)

※本世帯は「北海道公立高校生等奨学給付金」の給付世帯が対象となります。
審査の結果、本給付金の給付対象となった世帯は引き続き貸与となりますが、対象外となった世帯の生徒については、原則、ご家庭で端末をご用意いただくこととなります。
ただし、事情により引き続き貸与を希望する場合は学校へご相談ください。
なお、本給付金の申請時期については、別途お知らせします。

本給付金の給付対象となる保護者等の年収目安については、次ページの文部科学省パンフレット「②高校生等奨学給付金」等をご参照ください。

6 その他の事情でタブレット端末を用意することができない場合

下記へご相談ください。

北海道札幌北陵高等学校
「iPadの相談」ダイヤル
011-772-3051

端末購入に関するQ & A

ご不明な点がございましたら、本校(011-772-3051)までお問い合わせください。なお、ここに記載している事項以外で、お問い合わせの多いものについては本校 Web ページで掲載する予定です。

Q1 MacBook、Chromebook や Windows は利用できないのですか？

A 申し訳ありません。本校では環境を統一して実施するため iPad の購入をお願いいたします。

Q2 スマートフォンだけで済ませることはできないのですか？

A オンライン授業や学習動画、教材の利用等でスマートフォンの画面だけでは対応できない場面もありますので、iPad の購入をお願いいたします。

Q3 ドコモ等、キャリアとの契約は必要ですか？

A 校内では、各教室に設置した無線アクセスポイントに接続して利用しますので、キャリアとの契約は不要です。

Q4 Wi-Fi モデルとセルラーモデルのどちらが良いですか？

A どちらでも構いません。校内では各教室に設置のアクセスポイントを利用しますので、ご家庭の都合でお選びください。校内 Wi-Fi は無料です。

Q5 授業開始までに端末が届かないと言われ、どうしたら良いですか？

A 半導体等の供給不足の影響で、入学までに準備ができない場合が考えられます。端末が届くまでの間は学校にある端末かスマートフォンなどで進めていきます。ご相談内容に応じて対応いたしますので、端末が届くのを待ってご持参ください。なお、端末については各家庭において必ず準備していただくことになります。早めに購入等のお手続きをお願いします。

Q6 端末が届いたが、先に使い始めて良いですか？

A ご家庭で相談のうえ使用していただいて構いません。

追加で利用するアプリは後日お知らせします。なお、ご利用状況によってはアプリのインストール権限を付与していただきます。その際は事前に連絡いたしますので、ご協力願います。

Q7 心配なので、保護者側で規制ができるセキュリティ対策サービスに加入しても良いですか？

A 構いません。

ただし、本校の ICT オリエンテーション時にアプリへの初回ログイン、無線アクセスポイントへの初回接続のために、規制を一時的に解除していただくことがあります。その際は事前に連絡いたしますので、ご協力願います。

Q8 辞書アプリをインストールして使いたいのですが、アプリの指定があれば教えてください。

A 入学後に各教科にご相談ください。

VII クラウドサービス利用について

本校の教育活動では、次の3つのクラウドサービスを利用します。

1 Google Workspace for Education について

(1) Google Workspace for Education により授業でできること

Google のアプリ「ドキュメント」は、複数の人が同時に閲覧と書き込みが出来る文書作成ツールです。文章だけではなく、ウェブページへのリンクや画像も挿入できます。

Google のアプリ「スプレッドシート」は、複数の人が同時に閲覧と書き込みが出来る表計算ツールです。エクセルのように関数や画像の挿入等もできます。

Google のアプリ「フォーム」は、設問や選択肢を含めた入力画面が簡単に作れ、アンケートや小テストに利用できます。また、授業中にフォームを使って意見を集め、結果をグラフなどでリアルタイムに表示しながら、児童生徒の議論を深めることもできます。

Google のアプリ「スライド」は、複数の人が同時に閲覧と書き込みが出来るプレゼンテーションツールです。文章だけではなく、図版や写真などを使って、自由に発表資料を作成できます。詳細は、次ページの「クラウドを活用した授業イメージ」を参照してください。

(2) 生徒が家庭でできること

生徒は自宅のパソコンや個人所有のスマートフォンでも、Google Workspace for Education のアカウントにより Google Workspace for Education を利用できます。

例えば、授業で作成したスライド資料やレポート、デジタルカメラやスマートフォンで撮影した静止画や動画などを Google Workspace for Education のアプリ「ドライブ」に保存し、児童生徒が自宅で振り返り学習をすることが考えられます。

なお、ドライブに保存したデータが、他の児童生徒に見られてしまうことがあるかについてですが、標準設定のままではドライブに保存したデータは他人からは見られる心配はありません。ただし、ファイルやドライブごとに共有できるユーザを追加することにより複数のユーザとデータを共有することができます。安易に共有すると個人情報がおそれがあるため注意が必要です。

(3) 児童生徒個人所有の端末での利用

児童生徒が個人で所有する端末（パソコン・タブレット）やスマートフォンでの利用は、個人情報等の取扱い等一定の条件を付して、その利用を認めます。

なお、Google Workspace for Education は、Windows 端末、Chromebook、iPad のいずれでも利用できます。また、iPhone や Android 等のスマートフォンでも利用できます。

(4) 利用に当たっての留意事項

- ・クラウドサービスの利用に当たっては、本人と保護者の同意が必要です。
- ・クラウドサービスに保管される主な個人情報は次のとおりです。
 - a 児童生徒の氏名、学科、クラス、出席番号
 - b 児童生徒の学習記録（課題、ワークシート、レポート、作品等）
 - c 児童生徒の学習活動の記録（動画、写真等）
 - d a～c の個人情報の一覧や統計データ

2 Office 365 A1 について

(1) Office 365 A1 により授業でできること

Office 365 A1 のアプリ「Word」は、複数の人が同時に閲覧と書き込みができる文書作成ツールです。文章だけではなく、ウェブページへのリンクや画像も挿入できます。

Office 365 A1 のアプリ「Excel」は、複数の人が同時に閲覧と書き込みができる表計算ツールです。関数や画像の挿入等もできます。

Office 365 A1 のアプリ「PowerPoint」は、複数の人が同時に閲覧と書き込みができるプレゼンテーションツールです。文章だけではなく、図版や写真などを使って、自由に発表資料を作成できます。

Office 365 A1 のアプリ「Forms」は、設問や選択肢を含めた入力画面が簡単に作れ、アンケートや小テストに利用できます。また、授業中にフォームを使って意見を集め、結果をグラフなどでリアルタイムに表示しながら、児童生徒の議論を深めることもできます。

詳細は、資料「クラウドを活用した授業イメージ」を参照してください。

(2) 児童生徒が家庭でできること

児童生徒は自宅のパソコンや個人所有のスマートフォンでも、Office 365 A1 のアカウントにより Office 365 A1 を利用できます。

例えば、授業で作成したスライド資料やレポート、デジタルカメラやスマートフォンで撮影した静止画や動画などを Office 365 A1 のアプリ「OneDrive」に保存し、児童生徒が自宅で振り返り学習をすることが考えられます。

なお、ドライブに保存したデータが、他の児童生徒に見られてしまうことがあるかについてですが、標準設定のままではドライブに保存したデータは他人からは見られる心配はありません。ただし、ファイルやドライブごとに共有できるユーザを追加することにより、複数のユーザとデータを共有することができます。安易に共有すると個人情報がおそれられるおそれがあるため注意が必要です。

(3) 利用に当たっての留意事項

- ・クラウドサービスの利用に当たっては、本人等の同意が必要です。
- ・クラウドサービスに保管される主な個人情報は次のとおりです。
 - a 児童生徒の氏名、学科、クラス、出席番号
 - b 児童生徒の学習記録（課題、ワークシート、レポート、作品等）
 - c 児童生徒の学習活動の記録（動画、写真等）
 - d a～cの個人情報の一覧や統計データ

(4) その他

Google Workspace for Education と Office365 A1 は、類似のクラウドサービスですが、学習活動の内容や学校生活の場面に応じて使い分けることにしております。

クラウドを活用した授業イメージ

今後の授業（クラウド活用例）

従来の授業の課題

学期
始め

年間の学習計画、単元のねらい、評価規準、評価方法等を記したシラバスを、クラウド上に公開し、共有カレンダーを用いてスケジュール管理を行う。教師は各単元の始めの授業などで児童生徒にシラバスを再度提示し、説明することができる。

印刷した冊子やプリントを配付し、オリエンテーションなどで説明するため、時間がかかる。

家庭
学習

通年
提示された学習課題（自動採点できるものを含む）に取り組み、授業の前にクラウドを通して教師に提出する。



家庭学習の取組状況を即座に把握して授業を行うことは難しい。

授業
前

授業サイクル

教師は、次の授業の概要と“ねらい”、参考となる教材（映像、画像、参考資料等を含む）を、クラウドを通して提示する。児童生徒は、いつでもどこでも内容を確認して効果的に予習できる。

授業の初めに説明するが、児童生徒は一度しか聞くことができない。

授業
中

児童生徒は、事前に前回の授業の“まとめ”を作成し、授業の始めに、クラウドを通して提出する。教師は、いくつかの“まとめ”を提示し、全体で前回の振り返りを行う。次に、授業の“ねらい”を、クラウドを通して児童生徒のPCに提示し、全体で確認した上で授業を始める。

授業の初めに学習内容を黒板に板書し、説明するため、時間がかかる。

児童生徒は、教師の説明を聞くだけでなく、提示されたクラウド上の教材（映像を含む）を、必要に応じて繰り返し視聴することができる。

大型提示装置で提示する場合は、1度しか見ることができない。

教師は、課題やテーマをクラウドを通して児童生徒のPCに提示する。児童生徒は、グループごとにクラウドの同時編集スペースに自分の意見を記録しながら、議論し、考えをまとめる。クラウド上の記録を全体で共有し、グループごとに考えを発表し、共有する。



グループで、模造紙や卓上ホワイトボードに各自の意見等を記入し、それを黒板に貼るなどして議論を進めるため、時間がかかる。

教師は、児童生徒の質問を受け付け、クラウドの同時編集スペースを用いて全体で共有する。また、児童生徒の理解度のアンケートを実施し、自動集計により、その場で理解度を確認し、全体へ共有することもできる。



授業中に多くの質問を共有することや、リアルタイムに児童生徒の理解度を把握することは難しい。

授業
後

教師は、授業の内容の補足と、授業の内容に応じた学習課題（クラウド上で自動採点できるものを含む）を、クラウド上に公開する。

授業中に学習課題を黒板に板書し、説明するため、時間がかかる。

教師は、学習課題の取組状況や授業中にクラウド上に保存した記録の内容、演習問題の解答等を確認し、それぞれの児童生徒の評価を行う。

教師は授業中に取組を記録し、児童生徒のノート等を集める必要がある。

児童生徒は、クラウド上に保存された記録の内容をポートフォリオとして、学習の振り返りを行う。

紙のポートフォリオの管理は簡単ではない。

3 Classi

(1) Classi でできること

Classi は学校と生徒・保護者をつなぐ学習支援プラットフォームです。本校では 2020 年より利用しています。スマートフォンやパソコンから利用でき、連絡、学習記録、進路情報などを1つのアプリでまとめて確認できます。

- ①学校からのお知らせがすぐに届きます
 - ・行事予定、持ち物、急な連絡などをアプリで受け取れます。
 - ・紙のプリントの見落としが減ります。
 - ②生徒の学習の様子を把握できます
 - ・学習時間の記録や模擬試験の結果の推移などを保護者が確認でき、家庭での声かけに生かします。
 - ③欠席・遅刻・早退の連絡ができます
 - ・生徒が欠席する場合、アプリから朝の忙しい時間でもスムーズに連絡できます。
- ※本校では欠席連絡は原則 Classi で行います（生徒からはできません）。

(2) 安全性・個人情報について

Classi は学校と企業が連携して運用しており、個人情報は暗号化され、安全に管理される仕組みが整えられています。学校で設定した範囲でのみ利用し、外部に公開されることはありません。

(3) 利用に当たっての留意事項

Classi の利用に当たっては、本人等の同意が必要です。

- a 児童生徒の氏名、学科、クラス、出席番号
- b 児童生徒の学習記録（課題、ワークシート、レポート、作品等）
- c 児童生徒の学習活動の記録（動画、写真等）
- d a～c の個人情報の一覧や統計データ

VIII その他外部サービスの利用について

本校の教育活動では、以下の外部サービスを利用します。

4 生成 AI

(1) 生成 AI でできること

生成 AI とは「学習したデータから文章や画像などを自動的に作成できる AI（人工知能）の総称」です。活用方法としては

- ①教師の指示により生成 AI を授業など教育目的で活用します。
- ②具体的な活用例として、発表用の資料の文章表現の修正案の提案、グループワークでのアイデア出しの支援などを想定しています。

(2) 安全性・個人情報について

現在、北海道教育委員会において授業で利活用が認められている生成 AI は ChatGPT (OpenAI)、Gemini (Google)、Copilot (MSN)、NotebookLM (Google) の 4 つです。生成 AI サービスでは、入力された個人情報が生成 AI の機械学習に利用されることがあり、他の情報と統計的に結びついたり、不正確な内容で生成 AI サービスから出力されるリスクがあります。家庭や学校で生成 AI を利活用する場合は、プロンプト (命令文) に氏名や写真等の個人情報を入力させないよう留意する必要があります。道立学校では、児童生徒が学習活動で生成 AI を利活用する場合には、入力した情報を学習させない設定 (オプトアウト) にすることをガイドラインで定めています。



また、生成 AI サービスでは、既存の著作物と類似した生成物が生成される可能性があり、そのような生成物の利用内容によっては、著作権侵害が生じるリスクがあります。詳細は右側 QR コードより北海道教育委員会の HP から「生成 AI の利活用について」のリーフレットをご覧ください。

(3) 利用に当たっての留意事項

本校では生徒の主体的・対話的で深い学びの充実を図るため、教育活動の一環として生成 AI を活用した授業等に取り組んでまいります。生成 AI の活用により、生徒に情報の取捨選択や批判的思考、創造的な表現力を育むことが期待されます。

一方で適切な利用方法や情報の信頼性に対する理解を深めることも重要であると考えています。

- ①生成 AI の解答はあくまでも参考とし、場合によっては生成 AI の回答に誤りが含まれることがあることも認識するよう指導します。
- ②生成 AI を過度に頼らず、原則として自分の考えなどをまとめる際の支援ツールとして活用することを指導します。
- ③個人情報に配慮し、生成 AI に入力したデータが生成 AI モデルのトレーニングや改良に使用されることのないように設定します。
- ④生成 AI が作成した文章や画像などは、既存の著作物と類似する可能性があることや著作権の観点にも配慮し、適切に取り扱うよう指導します。

(参考) 主として使用する生成 AI サービスの態様 (令和 8 年 3 月現在)

	ChatGPT	Gemini	Copilot	NotebookLM
提 供 元	OpenAI	Google	Microsoft	Google
年 齢 制 限	13 歳以上	13 歳以上	18 歳以上 ※ 保護者の同意があれば 18 歳未満でも可	13 歳以上
保護者の同意	要 : 18 歳未満	学校アカウントであれば不要	要 : 18 歳未満	学校アカウントであれば不要